

～コミュニティ・スクールだより No.2～

氷川町小中学校コミュニティ・スクール連携協議会事務局

各学校で1回目の学校運営協議会を開催し、それぞれの学校での取組が始まりました。

第1回学校運営協議会（竜北東小学校 5月9日）



新しいメンバーも加わり、今年度のCS活動がスタートしました。今年度創立50周年を迎える竜北東小学校では、1年間の行事を通して歴史を紐解き、これまでの歩みを学びながら2月に行う「いきいき感謝祭2025」に向け取り組んでいきます。

今年度も「家庭教育支援班」と「命を守る班」のそれぞれの委員が主になり活動を進める中で、PTAとも密に連絡を取り合い、五者で連携を取りながら一緒にCS活動に取り組めます。

第1回学校運営協議会（竜北西部小学校 5月15日）



学校経営の方針を受け、CS委員がどんな子どもたちに育って欲しいか意見を出し、みんなの思いを一つにしました。昨年度から子どもたちの意見もしっかり取り入れようと、CS委員と委員会の子どもたちが一緒に給食を食べながら意見交換するランチミーティングを開催しています。6つの委員会の活動を通して、子ども達がどんな学校にしたいと思っているかを知り、一緒に取り組めることを考えていきます。CS委員も委員会の子ども達と意見交換するのを楽しみにしています。

第1回学校運営協議会（宮原小学校 5月17日）



「主体的に生きる宮っ子の育成」を学校教育目標として、今行っている活動の意味をもう1度考え目的意識をしっかり持ってCS活動に取り組もうと思いを新たにしました。今年度は、さらなる活動の充実に向け、子どもたちの意見も取り入れます。子どもも大人も学び合い、育ち合う機会になるような活動を、子どもたち、CS委員、保護者、教職員、地域の人と一緒に、楽しみながら作っていきたくと話しました。

第1回学校運営協議会（竜北中学校 5月23日）



4人の子ども委員を迎え、「『夢』の実現に向け、学び続ける竜中生」を学校目標に活動をスタート。CS委員が、人生の先輩として中学生にメッセージを送る「ようこそ先輩」や「オータム交竜会」に向け子ども委員の思いなど活発な意見が出ました。

生徒会では、生徒が校則を自分たちで見直す動きも出ており、生徒を中心にした活動をさらに充実させていこうと子ども委員と共に、それぞれの委員が活発な意見交換を行いました。

第2回学校運営協議会（氷川中学校 6月5日）



第2回CS会議には、全教職員、CS委員、子ども委員が参加しました。全参加者が3つのグループに分かれ、グループワークを行い、それぞれの立場で氷川中学校の課題を出し合いました。いろいろな活動の中で課題解決に向けどう取り組んでいくか、活発な意見交換を行いました。

今後それぞれの活動に向け目的意識をしっかりと持ち、生徒の企画、運営と一緒に取り組み、子どもたちのチャレンジをさらに応援していきます。

毎月15日は、「氷川町あいさつ運動一斉行動の日」

氷川町は毎月15日、あいさつ運動に取り組み、各学校の校門では、「児童・生徒、先生、保護者、地域住民、行政職員」の五者が集まり、元気な挨拶が飛び交っています。小中連携した取組として、中学生がそれぞれの母校の小学校に出向き挨拶を交わす姿も見られます。



竜北西部小学校



氷川中学校



竜北東小学校